

# Vanuatu

## バヌアツの地理と自然

バヌアツは南太平洋西部に Y 字型に並ぶ約 80 の島々で構成され、総面積は日本の新潟県とほぼ同じ大きさです。首都のポートビラは、オーストラリアから約 3 時間、ニューカレドニアとフィジーから約 1 時間のフライトで到着します。

南部は亜熱帯、北部は熱帯に属しますが、海洋性気候でしのぎやすく、リゾートでも冷房がないほどです。夏期の 11 月～4 月はやや蒸し暑く、サイクロンと呼ばれる熱帯低気圧が発生することもあります。5 月～10 月は爽やかですごしやすい日が続きます。

バヌアツでは活発な火山活動も見られ、透明な海のダイビングとともに、重要な観光スポットになっています。



## バヌアツの歴史

バヌアツの最初の定住者は、紀元前 4000 年頃、東南アジアからインドネシアやニューギニアをへて移動してきたメラネシア人と言われています。11 世紀から 15 世紀にかけて、南太平洋の東側からポリネシア人が大移動し、様々な技術や異なった生活習慣を持ち込みました。

西洋との出会いは、1606 年、スペイン人探検家キロスのサント島発見に始まります。1774 年にイギリスのクック船長がこれらの諸島を「ニューヘブリデス」と命名しました。19 世紀初めにエロマンガ島で白檀の木が発見されたのを契機にヨーロッパ人の入植者が増加し、綿花、ヤシ油の農園経営や牛の牧畜が盛んになりました。1870 年頃からフランス人が増加し、土地を巡って英国との緊張が高まりましたが、1906 年に英仏二カ国が協議し、ニューヘブリデス諸島を両国の共同統治下におくことにしました。

第 2 次大戦では、北隣のソロモン諸島まで進攻した日本軍を食い止めるため、米軍は 10 万人を超える大部隊をサント島とエファテ島に送り込みました。当時建設された軍用道路や飛行場は、現在もバヌアツの重要なインフラとして使われています。

1977 年頃から独立運動が高まり、1980 年 7 月に、「我々の土地」を意味する「バヌアツ」という名の独立国が誕生しました。

## 政治・外交・経済

大統領を元首とする民主共和制です。議会は 1 院制で 52 議席、内閣は首相の指名で議員から選ばれます。伝統的慣習や憲法問題については、部族チーフで構成された評議会に諮問されます。外交面では、南太平洋諸国との連帯強化、非同盟主義、反核政策を柱として進められています。

人口の 7 割が自給自足的な農業に従事し、経済基盤は乾燥ヤシ（コブラ）、牛肉、パニラ、木材などの一次産品ですが、最近では観光事業がバヌアツ経済に貢献しています。年間に約 10 万人の観光客がバヌアツを訪れ、観光収入が GDP の約 2 割を占めるまでになりました。日本からの観光客誘致にも力を入れています。

## 社会と文化と人々

今も村のチーフの統治が強く残り、人々の生活の重要な規範となっています。一方、人口の 8 割が熱心なキリスト教徒で、両方の伝統が基盤となって、穏やかで「和 (unity)」を大切にするバヌアツの習慣が作られています。

人口はわずか 21 万人ですが、言葉は村ごとに異なり、100 以上の伝統言語が残っています。学校の授業は英語又は仏語で行われますが、日常の共通言語として、英語をベースとしたビスラマ語が用いられています。

彼らは恥ずかしがり屋で一目無表情のように見えますが、「ハロー」の一言で穏やかなバヌアツ人のひとなつこい笑顔がこぼれます。



## バヌアツと共に国際協力活動

JICA(国際協力機構)は、開発途上地域等の経済、社会の発展に寄与することを目的としていますが、南太平洋地域でもいろいろな技術協力を展開しています。

バヌアツでは 1988 年に青年海外協力隊の派遣が始まり、今までに約 140 人の協力隊員が活躍しております。現在は教育、医療の分野を中心に 17 名が活動中です。また、2001 年からシニア海外ボランティアの派遣も開始され、現在 9 名がコンピューター教育、観光開発、経営管理等の分野で技術指導に汗を流しています。

その他、公共事業アドバイザー、沿岸資源管理などの専門家の派遣、バヌアツの人達を日本で研修する研修員受け入れ事業も実施しています。

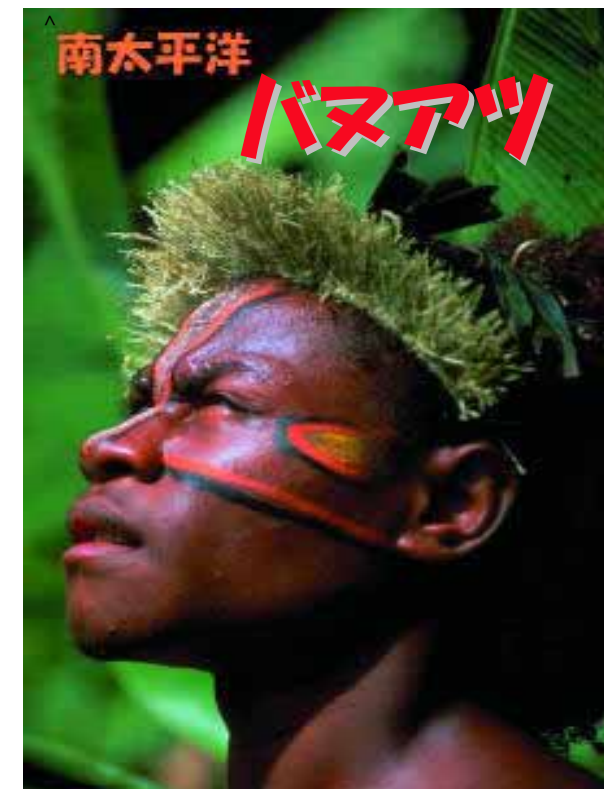
バヌアツ国の JICA 事業は、基礎教育改善や技術技能訓練の教育分野、感染症対策等の保健医療分野、廃棄物処理や沿岸資源保全等の環境分野、インフラ整備を中心とした地方開発を主な開発重点分野としていますが、協力隊員等はそれぞれバヌアツ各地に派遣され、バヌアツの人達と共にそれら開発課題に取り組んでいます。

また、仕事を離れてバヌアツの人達との交流活動も積極的に取り組んでいます。



2006 年 5 月、首都ポートビラからポイ捨てをなくし、美しい市街を取り戻す活動を行いました。協力隊員、シニア海外ボランティア、家族、職員が、呼びかけに応じたバヌアツの人達と共に、3 班に分かれて主要道路のゴミ拾いに汗を流しました。

作成：2006 年 6 月 JICA の協力により作成しました。



南太平洋に浮かぶ楽園、バヌアツにいらっしゃいませんか。

美しいサンゴ礁の海、貿易風を受けてのびやかに育つ熱帯の森、純朴な人々のゆったりした暮らしぶり、物乞いのいない町、オーストラリア人やフランス人に高い人気のリゾート、それがバヌアツです。ダイビング、シュノーケリング、ジャングル探訪、火山見物、原始を思わせる村訪問、フランスに鍛えられたグルメな食事など、バヌアツには楽しい旅のテーマが一杯です。

- 日本の連絡先

### バヌアツ政府観光局・インフォメーション・センター

〒151-0072  
東京都渋谷区幡ヶ谷 2-6-6 財建ビル 7 階  
月曜日～金曜日(祝祭日、年末・年始を除く)  
午前 11:00～午後 5:00  
電話：03-5350-9759 FAX: 03-3376-1160  
E-mail: [vtoj@spb-group.net](mailto:vtoj@spb-group.net)

- ポートビラの連絡先

### バヌアツ政府観光局 VANUATU TOURISM OFFICE

Pilioko House  
Po Box 209, PORT VILA, VANUATU  
Tel: (678) 22685 / 22515 / 22813 Fax: (678) 23889  
Email: [tourism@vanuatu.com.vu](mailto:tourism@vanuatu.com.vu)

バヌアツ政府観光局ウェブ・サイト  
<http://www.vanuatutourism.com>



## バヌアツの概要

国名	バヌアツ共和国 Republic of Vanuatu
首都	ポートビラ Port Vila
面積	12,189 平方 km (新潟県とほぼ同じ) 83 の島々で構成されています。
人口	約 21 万人、95%がメラネシアン系です。
言葉	公式言語として英語、フランス語、共通日常語のビスラマ語の3つが使われています。
ビザ	30 日以内の滞在の場合は不要、最大 4 ヶ月まで延長可能です。
空港税	国際線 2,800VT。国内線は空港により異なります。
免税枠	個人使用の品、15 歳以上はタバコ 250 本、アルコール類 1.5 リットルまで免税。
通貨	1 バツ (VT) = 約 1.1 円 (2006 年 6 月現在)
両替	ホテル、市内及び空港内の銀行で可能です。
郵便	日本まで 110 バツ、約 1 週間かかります。
電話	公衆電話はカード式。郵便局で買えます。
時差	日本より 2 時間進んでいます。
治安	犯罪が少なく、一般的に安全です。
電気	240V、50 Hz、プラグの形はハの字型です。日本の電化製品は変圧器が必要です。
水道	都市部の水道水は安心して飲めます。
気候	南半球の為、日本とは反対の季節になります。11 月～4 月が夏で、冬季は 6 月～8 月です。1 年中季節風が吹き、朝夕は長袖が必要なときもあります。



## 主な観光地

### エファテ島

首都ポートビラのある島で、丘陵地帯が多く、海岸線は入り組んでいます。ポートビラを出て一周 140km のリングロードを走ると、小さな集落で素朴に暮らす人たちに出会うことができます。東海岸のエパウ村は JICA が観光開発に協力しており、ホームステイでバヌアツ人の暮らしを体験できます。

周辺の小島に渡ってダイビングやシュノーケリングを楽しんだり、村人たちと交流して独特の文化を体験したりする各種の日帰りツアーがあります。

### ポートビラ

パウアフィールド国際空港から人口 4 万人の首都の中心街まで車で 10 分、ビラ湾に沿ったリニハイウェイには、しゃれたレストラン、ブティック、ママさんのおみやげ店、銀行、スーパーマーケットが並び、世界の旅行者で賑わっています。市内にはゴルフ場やプライベートビーチ付きの高級リゾート、一般ホテル、安価なバンガローなど各種の宿泊施設があり、長期滞在も可能です。にぎやかな公設市場を覗いて産地直送の食品を買ったり、乗合タクシーで、近くのビーチに出かけたり、楽しさいっぱいの町です。



## エスピリッツ・サント島

バヌアツで最も大きな島です。州都ルーガンビルはバヌアツ第二の都市、商工業の中心で、第 2 次世界大戦で米軍が残したカマボコ型の兵舎が今も使われています。リゾートやホテルも揃っており、日本人が経営するダイブショップもあります。

ルーガンビルから、車で 1 時間以内に、白砂の「シャンパンビーチ」、神秘的な泉「ブルーホール」や、ダイビングのメッカ、沈没豪華客船「クーリッジ」があります。

島の西部は 1,500m を超える山々に囲まれ、手つかずの大自然や、今も原始的な暮らしを続ける人たちと出会う秘境ツアーも出来ます。



## タンナ島

ポートビラから南に 1 時間、空港を出たらタイムスリップの世界です。道路は昔のまま、電気や電話も限られた地域ですが、素敵な観光スポットとして逃せません。

ヤスールは世界で最も火口に近づく火山として知られ、夕暮れ時の噴火は迫力満点です。伝統的な生活や勇壮な踊りを見せてくれるカスタムビレッジ訪問もぜひ加えてください。純朴な村人とのふれあいは忘れがたい思い出になるでしょう。リゾートはバンガロータイプが多く、清潔で食事も美味しいと評判です。



## バヌアツの主なイベント

### ●ランド・ダイビング

4 月～6 月の土曜日に、ベンテコスト島で行われ、バンジージャンプの原型と言われます。ヤム芋の収穫を祝う祭りで、若者達が植物の蔓を両足に縛り、30m もある檣の上から身を躍らせます。檣の下からジャンパーを励ます伝統的な腰籠や禪姿の踊りにも注目しましょう。シーズン中はポートビラなどから日帰りのツアーも出ます。

### ●トカダンス

8 月～9 月にタンナ島の村々にておこなわれる大規模なダンスです。美しい衣装と勇壮な足踏みが見ものです。

### ●アイランド・リレー

7 月下旬にエファテ島で行われます。村々を巡る 140 km のコースを 10 人でリレーします。海外チームの参加も可能です。希望されるかたは観光局に問い合わせを。



## 食べ物

バヌアツに来たらまずフルーツ。おなじみのバナナやパイナップルでも、完熟とりたての味は、一度食べたら忘れられません。ヨーグルトに似た味のスーッパや、切ると星の形のスターフルーツ等、季節ごとに様々なフルーツが市場に並びます。

バヌアツの伝統料理は、芋やバナナをペーストにして石蒸にした「ラップラップ」。「ういろう」に似た食感です。ラップラップに肉を包み込んだ「トゥルック」も人気があります。公設市場のママさんから買えます。

レストランやリゾートでは、フレンチテイストの料理やお菓子が味わえます。シーフード、椰子蟹、バヌアツ・ビーフ等、新鮮な食材を満喫できるのも、バヌアツならではの。洋食、中華、ベトナム、韓国、日本料理もお楽しみいただけます。バヌアツ産ビール「Tusker」も旅行者に大人気です。